



「ながどろひろば」に隣接している
花き栽培を行うビニールハウス

●トピックス●

飯館村長泥地区に環境再生の新たな広報拠点「ながどろひろば」がオープン

地区を訪れた人が気軽に立ち寄り、交流・談笑できる空間

本年 4 月、福島県飯館村長泥地区に環境再生事業に係る新たな環境省の広報施設「花の里 ながどろ 環境再生情報ひろば（愛称：ながどろひろば）」がオープンしました。

飯館村長泥地区では、村内の仮置場に保管されていた除去土壌を再生資材化し、それを農地のかさ上げ材として農地造成し、園芸作物や資源作物、米などの栽培試験を行う環境再生事業が進められています。新たにオープンした「ながどろひろば」は、環境省が行う除去土壌の復興再生利用や県外最終処分についての情報、長泥地区で環境再生事業を実施することになった経緯、長泥地区の状況等を紹介しています。また、見学者や一般来訪者が活用できる休憩スペースも備えており、地区を訪れた方がより気軽に「環境再生事業」を感じていただける施設となっています。

JESCO では、環境省の委託を受け、実証事業で得られた情報や現場の様子を実際に目で見て確認できる「長泥地区環境再生事業見学会」を開催しています。

見学会では、造成された農地の管理道路を徒歩で移動し、区画整理された農地の様子などを確認します。また、再生資材（除去土壌）を利用するに当たり、「放射線について」「農作物への影響について」など一般の方が疑問に思うことをお答えするためにこれまでの知見を現地の専門スタッフから説明してもらえのほか、花き栽培を行っているビニールハウスの見学も可能です。



「ながどろひろば」の外観

長泥地区で実施されている環境再生事業は、未来を築く挑戦の連続です。除染、復興再生利用、そして人々の思い。そのすべてを現地で「見て・感じて・考える」ことが重要であり、見学会や「ながどろひろば」の展示で学ぶことは貴重な機会となることと思います。

見学会は事前申込制で、定期的に行われています。詳細やお申し込み方法については、中間貯蔵事業情報センターウェブサイトをご覧ください。皆様のお越しをお待ちしております。

ながどろひろば

入館料：無料

開館時間：10:00 ～ 16:00

休館日：毎週水曜、年末年始

（冬季は積雪の状況に応じて閉館）

所在地：福島県相馬郡飯館村長泥字長泥 815-1



見学会の
お申込みは
こちら

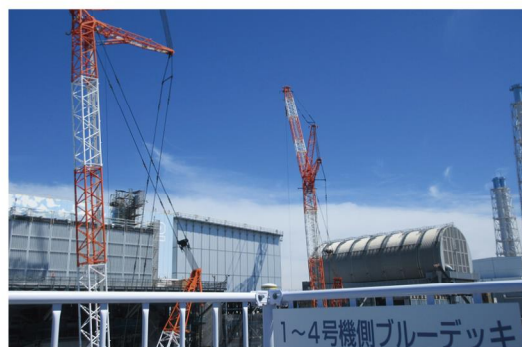
● 廃炉の現状を知る

東京電力福島第一原子力発電所では、廃炉に向けて様々な取組みが行われています。最新の状況を知るためには、百聞は一見に如かず、現地を訪問することが1番です。今回は、廃炉の現場を実際に案内されている東京電力のご担当者から、視察での様子についてお話を伺いました。

「視察ではまず、事故が起きた1～4号機の原子炉建屋を直接見てもらいます。震災当時、原子炉建屋が爆発する映像がメディアで流れましたが、現在は大きく様子が変わってきています。除染作業により敷地内の放射線量が低減しており、多くの作業員が防護服を着ずに業務に従事している様子を見た視察者はとても驚かれます。現在、1号機の原子炉建屋は使用済燃料プールに残っている燃料を安全に取り出すため、建屋を覆う大型カバーの設置工事が進められており、外観からも着実に廃炉に向けた作業が進んでいることが実感できます。また、視察では津波で破壊された建物も見ることができ、被害の大きさを肌で感じることができます。」

現場ではありのままをしっかりと伝えることはもちろん、未来へ向けて取り組んでいることも伝えていきたいと力強く話されていたことが印象的でした。また、より多くの方に現場での

取組みを発信するためには、廃炉の現場と中間貯蔵施設の現場の両方を、また、直接現場を見ることが



東京電力福島第一原子力発電所構内の視察台

できない方は廃炉資料館や中間貯蔵事業情報センターの両方を見学することが重要であり、それぞれの案内担当の連携が不可欠であるとも仰っていました。

環境省のHPから「中間貯蔵施設と東京電力福島第一原子力発電所 廃炉資料館の連携見学ツアー」を申し込むことが可能であり、中間貯蔵施設と廃炉の現場を合わせて見学することができます。それぞれの現場でこそ感じることでできる取組みの様子や関係者の想いを、ぜひ体感してください。

連携見学ツアーへの参加はこちら



● 第11回 知のネットワーク会合を開催します！

減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク会合を「理解醸成活動～福島から全国へ～」というテーマで開催いたします。なお、本会合は第14回環境放射能除染研究発表会の企

画セッションとして位置付けられています。

オンライン・オフラインのハイブリット形式で以下の通り開催いたします。どなたでも無料で聴講頂けます。ぜひご覧ください。

日時 2025年8月28日(木) 午後

会場 パルセいいざか(福島市飯坂温泉観光会館)
コンベンションホール

テーマ「理解醸成活動～福島から全国へ～」

★オンライン(Zoom)聴講申込み

メールの件名を『8月28日会合申込』とし、氏名、勤務先名称・所属部署(法人の方)、メールアドレスをご記入のうえ、下記にお送りください。前日までに聴講用URLをお送りします。

i-network@jesconet.co.jp

情報センターだより

▼見学者アンケート

●全国の中・高・大学で講義やセミナーを行って現状や事実を周知するなど、興味の有無を問わず広く若者に知ってもらう機会を設けるのが良いと思いました。／20代 茨城

●見学を経てわからないことの多さに気づきました。詳しく知りたいと思う気持ちに寄り添って情報提供していくことが重要だと思います。／30代 大阪府

●再生利用の理解を進めるのは難しいと思います。一方で現地を多くの方々に見ていただくことが事業全体への理解につながると感じました。／30代 南相馬市

▼情報センター見学のご案内

中間貯蔵事業情報センターは無料で見学できます。中間貯蔵施設見学は事前に予約が必要となります。

中間貯蔵事業
情報センター
(CREVAおくら1階)



ホームページはこちら

福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野 116 番 5
開館時間▶ 9:00～17:00(最終入館 16:30)
休館日▶ 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、
年末年始(12/29～1/3)

編集後記



・中間貯蔵施設区域内の道端に咲いていたスイセンを撮影しました。すでに真夏のような暑さになり、春が昔のこのように思えます。